



林業へのシカ被害対策を

考える

人工林の蓄積が充実し、大型製材工場やバイオマス発電所の稼働が相次ぐ中、四国では皆伐・再造林が加速すると予想されます。

しかし、ニホンジカによる苗木被害は

再造林を進める上で大きな障壁となり、実効性のあるシカ対策を確立することが喫緊の課題です。そこで森林総合研究所は、徳島県、高知県、および高知大学と共同で、研究プロジェクト「ニホンジカ生息地におけるスギ・ヒノキ再造林手法の開発」を平成26年から始めました。シカ対策には個体数調整（捕獲）と物理的防除（防護柵など）があります。本プロジェクトではこれらを車の両輪と考え、捕獲については再造林地に出没するシカを集中的に捕獲し、苗木への被害軽減効果を検証しました。

また、防護柵については実際に設置されている防護柵を多数調査して、柵を有効に機能させる条件を検討しました。それぞれの研究課題について一定の成果があがっていますが、課題も多く残されています。この公開講演会において、本プロジェクトの成果を林業事業者や森林管理者と共有することによって、林業におけるシカ問題を解決する糸口を探りたいと思います。



平成28年
11月29日(火)
13:00~16:50
受付開始
12:30

入場無料

定員
100名
先着順

開催会場・高知会館「飛鳥」
高知市本町5-6-42
TEL:088-823-7123

国立研究開発法人



森林総合研究所

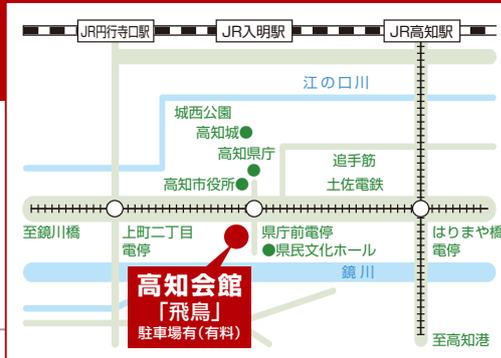
四国支所 地域連携推進室
〒780-8077 高知市朝倉西町 2-915

TEL:088-844-1121(代) FAX:088-844-1130

E-Mail koho-ffpri-skk@gp.affrc.go.jp URL http://www.affrc.go.jp/skk/

主催:国立研究開発法人 森林総合研究所四国支所

後援:四国森林管理局、高知県、高知県森林組合連合会、高知新聞社、RKC高知放送局、NHK高知放送局、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ



林業へのシカ被害対策を考える

13:00

主催者挨拶 原田 寿郎 (森林総合研究所四国支所長)

13:05

基調講演「ニホンジカの爆発的増加と管理」

梶 光一 (東京農工大学農学部地域生態システム学科 教授)

洞爺湖中島や知床岬で30年以上にわたりエゾシカの個体数変動と植生への影響を調べた結果、捕食者が不在で捕獲がない場合、年平均増加率16-20%(4年で2倍以上)で増加し、植生を破壊して群れの崩壊が生じること、個体群は安定しないことなどが明らかになった。ニホンジカの個体数管理を成功させるためには、高い捕獲圧をかけ続ける必要があるため、資源利用の仕組みづくりとともに、野生動物管理専門官や捕獲技術者の養成が不可欠である。

13:45

講演「再造林地におけるシカの誘引捕獲」

藤井 栄 (徳島県立農林水産総合技術支援センター資源環境研究課新次元林業担当 主任)

再造林地においてシカを効率的に捕獲する手法を検討した。徳島県つるぎ町の3.9haの伐採跡地において給餌誘引する手法でシカ捕獲を実施した。捕獲場所及び捕獲手法を順応的に選択し、最初は銃による狙撃、途中から囲いワナに切り替え、9ヶ月間で14頭捕獲した。講演では本成果の林業事業者への普及活動についても紹介する。

14:15

講演「シカ捕獲による苗木被害抑制効果の検討」

大谷 達也 (森林総合研究所四国支所森林生態系変動研究グループ 主任研究員)

新植地でのシカ被害抑制を目標に、シカの駆除による苗木被害の軽減効果を検討した。新植地に出現するシカの半数ほどにあたる8頭をおもに囲い罠で駆除したところ、新たに発生する苗木被害を抑制する効果がモデル解析によって認められた。しかし残存個体を捕獲することが困難なため駆除だけでは林業的に許容できる被害に抑え込むことができず、現実にはシカ柵を併用せざるを得ないと考えられた。

14:45

講演「シカ柵はシカ被害を食い止められるか」

酒井 敦 (森林総合研究所四国支所 チーム長(人工林保育管理担当))

新植地における比較的「堅実な」シカ対策として、防護柵が各地で設置されている。シカ柵を設置した新植地を調べたところ、およそ半数の柵はシカに侵入され造林木に被害が見られた。倒木、土砂崩れによる破損や下からのくぐり抜けなどが侵入の原因と考えられた。シカ密度が高い場所ほど成林しにくく、柵の見回りを頻繁にしている場所ほど成林しやすい傾向が見られた。シカ柵の見回り・補修を森林管理の一貫として位置づけ、予算的な措置を講じる必要がある。

15:15

休憩

15:30

パネルディスカッション

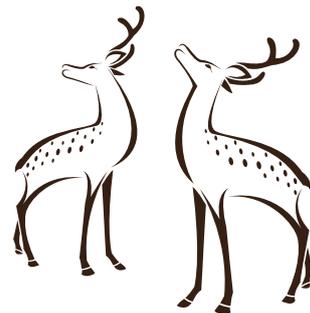
コーディネータ: 田中 浩 (森林総合研究所 研究担当理事)

パネリスト: 伊藤 哲 (宮崎大学農学部森林緑地環境科学科 教授)

木村 穰 (四国森林管理局 業務管理官)

徳増 秀敏 (高知県香美森林組合業務課森林整備係 係長)

基調講演者、講演者



16:50

閉会挨拶 鹿島 潤 (森林総合研究所四国支所 産学官民連携推進調整監)